

# 国際キャリア実習 報告会



宇都宮大学国際学部国際文化学科4年  
松原 奈々

# 実習内容とキャリア実習参加の理由

## <実習内容>

- ・スリランカにおけるジェンダー関連事業の取りまとめ、
- ・NGOの縫製指導事業同行。

## <参加理由>

- ①卒業論文テーマと関連していたから。ジェンダー由来の問題を再確認し、また、ジェンダーによって差別される人々への有効な支援はどのようなものかを、学びたかった。
- ②国際協力の分野で働く人々の仕事ぶりや、国際協力の分野で働く意義や動機を伺うことで、将来的に国際協力の分野で働きたいという意思をより強く持つきっかけにしたかった。

# 実習先: JICAスリランカ事務所

## < インターンシップの流れ >

日付	実習内容
10月12日	コロンボ着、ホームステイ先へ
10月13日～ 10月15日	スリランカ北部ムライティブ県にて、JICAがドナーであるNGO「PARCIC」に訪問。サリーリサイクルプロジェクトに参加し、縫製指導に同行、またインタビュー実施。
10月19日～ 10月28日	JICAスリランカ事務所にて、ジェンダー関連事業のマッピング調査を行い、報告書をまとめる。また、休日には、PARCICの行うコロンボ市内での販売会の手伝いを行った。最終日に、報告会を行う。
10月28日	帰国

# ① PARCICで縫製指導同行

- ・10月14日・15日の2日間事業地縫製指導同行と事務所作業補助を行った。
- ・訪問地は、ムライティブ県南部のKokkuttoduvai、Kokkilaiと北部のVellamulliwaikkaiの、計3ヶ所の村に訪問。





## ②JICAでジェンダー関連事業の取りまとめ

### <実習内容>

#### ・8時30分出社～

主に、午前中にJICA職員の方と話し合いを行いジェンダー関連事業の取りまとめについて話し合う。

#### ・昼食12時半～13時半

食堂や、スーパーで昼食購入。

午後は、報告書の構成を考えたり、マッピング作成に取り掛かる。

#### ・17時半退社～

バスに乗りホームステイ先へ帰宅





## ③学んだことと課題、キャリアへの影響

### <学んだこと>

- ①「**貢献すること**」の難しさ、② JICAとNGOの相違点
- ③卒業論文に活かせる考察力を得た

### <課題>

- ①英語・言語、②積極性、③責任感

### <キャリアへの影響>

- ①就職活動終了後の参加だったが、将来のキャリアの選択肢が増えた。**→就職活動前ならばより、職業選択に影響があったかもしれない。**
- ②将来、国際協力の分野で働いてみたいという意思を固められた。  
**→国際協力の分野で働く厳しさをわずかでも知っておくことは重要であると実感できた。**



ご清聴ありがとうございました。